



# 2021 年度 事業計画書

一般社団法人

埼玉県バスケットボール協会

## 2021年度 事業計画

### 基本方針

- 1 埼玉県内のバスケットボール競技の普及・振興を図る
- 2 競技力向上を図り、世界へ羽ばたく人材を育成する
- 3 バスケットボール競技を通じて、生涯スポーツ社会の実現を目指す
- 4 指導者による暴力・暴言の撲滅

### 事業概要

本協会は、上記基本方針の下、埼玉県内のバスケットボール競技の普及・振興のため各種事業を推進します。

本年は、1年延期された東京オリンピックバスケットボール競技がさいたまスーパーアリーナで開催されます。埼玉県と協調しながら、競技ボランティアや都市ボランティア、アスリートの応援など様々な形で参画し、大会を盛り上げてまいります。

第97回天皇杯・第88回皇后杯1次ラウンド（9月11日・12日）がさいたま市に於いて開催されます。公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」という。）と連携して運営を司ります。埼玉県チームの2次ラウンド進出が期待されます。

Wリーグを春日部市に於いて、10月30日と31日の2日連続で毎日2試合開催します。多くの方々に女子のトップリーグを楽しんで頂く場を提供します。

オリンピック、天皇杯・皇后杯、Wリーグの開催を通じてバスケットボールを盛り上げてまいります。また、埼玉県ゆかりの著名人にアンバサダーを依頼し、いろいろな機会に埼玉のバスケット情報を発信していただく計画です。SNSを活用した発信に努めてまいります。

強化対策事業として、第76回国民体育大会（三重国体）では、各種別8位以内入賞を目指し、種別毎に強化対策に取り組みます。2020年度の第75回鹿児島国体は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け2023年に延期されました。2019年度の第74回茨城国体では、残念ながら本大会出場を達成できませんでした。この借りを返すべく目標の各種別8位以内を目指します。

ユース世代の育成に力を注ぎ、時代を担う青少年の健全な育成を図ります。2021年度はアンダーカテゴリー全てに於いてリーグ戦が実施されます。ユース世代のリーグ戦が安定して運営できるよう本協会が支援します。

U12カテゴリー一部会では、各大会に於ける予選リーグ（6チームによる一次リーグ、二次リーグ）を取り入れ年間1チーム10試合の確保を目指します。また、全国大会及び関東大会推薦チームを決定する大会はこれまでの2大会から1大会に変更されます。競技者登録人数が10名未満のチームの場合であっても、8人または9人で参加が認められるようになります（ミニバス競技規則第23条）。

U15カテゴリー一部会では、2019年度に開始されたリーグ戦を更に充実したものとステップアップを図ります。登録については、これまで移行期間として認められていた「Bクラブ」と「中学校」、「Bクラブ」と「クラブ」の二重登録が認められなくなります（移行期間の終了）。

U18カテゴリー一部会では、新規事業として各支部（4支部）別のリーグ戦が8月を中心に実施されます。

育成センター（DC）が2019年度より本格的に稼働しました。月1回、年10回のDC事業が安定して運営できるよう本協会がバックアップします。

2018年から始動した「埼玉県社会人バスケットボール連盟」と連携し生涯スポーツ社会の実現を目指します。

日本社会人連盟は、改革の一環としてこれまでのエンジョイとOA（Over Age）カテゴリーの事業再編を打ち出しました。登録のカテゴリーが「競技スポーツとしてのOA」と「生涯スポーツとしてのOA」に分類され、競技者はいずれかを選択して競技に参加することになります。「生涯スポーツとしてのOA」に新たに「OAフレンドリー60」が加えられます。

競技スポーツとしては、「全国社会人選手権大会埼玉県予選」と「全国社会人0-40・0-50選手権大会埼玉県予選」が引き続き実施されます。

生涯スポーツとして、「フレンドリーシップ埼玉県交流大会」と「埼玉県ゴールドマスターズ大会（0-60）」が新たに実施されます。

「埼玉県社会人リーグ」は、「一般の部」、「0-40」、「0-50」の3つのカテゴリーに分かれて実施します。「生涯スポーツとしてのOA」のチームも参加できます。

公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」という。）は、2021年度TeamJBAのシステム変更を行います。また、TO委員会の設置とガバナンスコードの策定を各都道府県協会に求めています。

「TeamJBAシステム変更」については、各カテゴリーの登録担当者を通じて各チームへの案内を充実し、混乱が生じないように努めてまいります。

「TO委員会設置」については、これまで本協会審判部のTOグループを「TO部」に格上げして設置します。

「ガバナンスコード策定」については、担当理事と総務部で連携して作成し、本協会理事会の決議を得て、JBAに提出（12月）する予定です。

2047年の本協会創立100周年に向けて、埼玉のバスケットボールファミリーが一体となってバスケットボール競技の振興・発展に取り組むための中長期計画の立案に取り組んでまいります。

## 1 部会活動

### (1) 総務部

- ① 諸会議の準備
- ② 中長期計画の立案
- ③ ガバナンスコードの策定

### (2) 財務部

- ① D-fund 施行に伴う予算編成及び会計処理
- ② 各加盟団体を含めた本協会会計一元化の推進
- ③ 公正かつ適正な会計処理に推進

### (3) 渉外部

- ① アンバサダーの増員
- ② 大型スポンサーの獲得
- ③ SNSの活用／各カテゴリーとの連動
- ④ 中長期計画の立案

### (4) 事業部

- ① 普及事業の再構築（Wリーグ、埼玉BBドリームカップ、埼玉カップ）
- ② 中長期計画の立案
- ③ 普及活動の推進
  - ・ Wリーグ春日部大会の運営
  - 10/30 ENEOS 対 東京羽田 三菱電機 対 新潟
  - 10/31 ENEOS 対 東京羽田 三菱電機 対 新潟
  - ・ トップリーグとアンダーカテゴリー事業の共同実施の実現
  - BチームのホームゲームでのBチーム興行とアンダーカテゴリー公式戦の同時開催

### (5) 競技部・競技会委員会

- ① 各種大会実施要項の集約
- ② 第97回天皇杯・第88回皇后杯1次ラウンドの競技運営
- ③ 天皇杯・皇后杯埼玉県予選会の競技運営
- ④ その他本協会主催事業の競技運営
- ⑤ 移籍に関すること

- (6) 審判部
  - ① ルールの伝達と普及
  - ② 審判派遣事業
  - ③ 審判養成事業（講習会／研修会）
- (7) T O部（新設）
  - ① T O担当者の育成
  - ② 東京オリンピック・パラリンピックへの派遣
  - ③ Bリーグ、Wリーグへの派遣
- (8) 強化部
  - ① 第76回国体（三重県）強化対策
  - ② 国体チーム全体を総括する強化担当者の配置

## 2 委員会活動

- (1) ユース育成委員会
  - ① U12、U13、U14、U15、U16 のDC（育成事業）の推進
  - ② U12、U13、U14、U16 県指定選手の選考
  - ③ ジュニアアスリートアカデミー事業との連携による強化事業の推進
- (2) 選手選考委員会
  - ① 国体選手の選考
- (3) スポーツ医科学委員会
  - ① 国体等の県選抜選手へのサポート
  - ② 指導者向け講習会の講師派遣（指導者養成委員会と連携）
  - ③ 医科学的情報の発信
  - ④ 医事相談の窓口
  - ⑤ 医科学的な調査
  - ⑥ イベント等への救急医の派遣
- (4) 指導者養成委員会
  - ① コーチデベロッパーの養成
  - ② JBA公認D級・C級コーチ養成講習会の開催及び運営
  - ③ JBA公認コーチリフレッシュ研修会の開催
  - ④ SBAコーチバンクの作成
  - ⑤ 指導者による暴力・暴言の撲滅に関する啓蒙
- (5) 裁定委員会
  - ① 裁定に関わる調査、事実認定
  - ② 懲罰案の作成と理事会への答申
- (6) 規律委員会
  - ① 規律に関わる調査、事実認定

- ② 懲罰案の作成と専務理事への答申
- ③ 各種大会における規律担当者の配置

### 3 アンダーカテゴリー部会

#### (1) U12カテゴリー部会

- ① 埼玉県スポーツ少年団と連携した部会運営
- ② 各種大会の運営
- ③ 競技者登録人数が10名未満のチームの場合の8人以上による試合成立の適用
- ④ 育成センター（DC）事業の諸準備（ユース育成委員会と連携）
- ⑤ 年間スケジュールの再構築
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症の対応

#### (2) U15カテゴリー部会

##### ① 登録関係

中学部活チームの登録推進

「Bクラブ」と「中学校」の二重登録禁止の徹底

「Bクラブ」と「クラブ」の二重登録禁止の徹底

移籍に関する基本的な考え方の周知徹底

- ② 中学部活チーム、クラブチーム、Bクラブチームの把握
- ③ Bクラブチームとの連携
- ④ U15リーグとU14リーグの運営／（試合環境の質の向上・改善）
- ⑤ U14リーグ（2020年度延期分）の運営
- ⑥ U15全国BB選手権大会埼玉県予選会／ウィンターマッドネスの運営  
越谷アルファーズとの連携及び他カテゴリーとの協力
- ⑦ 育成センター（DC）事業運営（ユース育成委員会と連携）
- ⑧ 2022年度以降の競技会の見直し・再設定等の検討  
・U13リーグの新設
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症の対応

#### (3) U18カテゴリー部会

- ① 全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ2020）埼玉県予選会の運営
- ② U17夏季支部大会の運営
- ③ 各支部リーグ（新設）の運営
- ④ 四支部大会の運営
- ⑤ 高体連バスケットボール専門部と連携した部会運営
- ⑥ 育成センター（DC）事業の諸準備（ユース育成委員会と連携）
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症の対応

#### 4 社会人連盟

- (1) 「一般カテゴリーのチーム・競技者登録区分変更」について周知徹底
- (2) 事業再編に伴う各事業の案内
- (3) 各種大会の運営
- (4) 新型コロナウイルス感染症の対応

#### 5 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 連盟・各カテゴリーに感染対策責任者を配置
- (2) 各事業に感染対策責任者を配置